

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

② 施設・事業所情報

名称：大垣市ケアハウスお勝山	種別：軽費老人ホーム
代表者氏名：牛場 誠	定員（利用人数）： 30 名
所在地：岐阜県大垣市牧野町 2 丁目 1 5 0 番地 1	
TEL：0584 - 71 - 3434	ホームページ：https://ogaki-fukushi.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 9 年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 大垣市社会福祉事業団	
職員数	常勤職員： 4 名 非常勤職員 4 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	生活相談員 1 名 看護師 1 名
	介護職員 3 名 夜間専門員 3 名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	個室 26 室 2 人部屋 2 室 全室（トイレ、洗面台、ミニキッチン、インターホン、ナースコール生活センサー）

③ 理念・基本方針（※転載）

<理念>

日常生活上必要な便宜を供与し、健康で明るい生活を送れるよう支援します。

<基本方針>

- ① 入居者が、心身の状況に応じて自分らしく自立した明るく快適な日常生活が営むことができるよう、プライバシーに配慮し、相談、助言、食事、入浴など必要なサービスの提供を行います。
- ② 楽しく充実した生活を送ることができるよう自然を生かした作品作りや園芸活動等、様々なレクリエーションを行います。
- ③ 疾病、災害等、緊急時の対応に万全を期し、生活が送れるよう配慮します。
- ④ 入居者が介護保険等の適切なサービスを受けられるよう、関連諸制度、施策の活用についても迅速かつ適切な配慮を行います。
- ⑤ 病院受診、買い物等への送迎（無料）も行います。（曜日・時間固定）

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・複合施設(地域の高齢者が集うスペース、養護老人ホーム、救護施設、デイサービスセンター)の中にあるため、他施設との合同行事や交流ができる機会が多い。
- ・入居者の利便性を図るため、市民病院や駅等への無料送迎を運行している。
- ・全室生活センサーを完備し、12時間動きがないとセンサーが作動し、知らせるシステムになっている。また、看護師が常駐し、健康相談や衛生管理を行い、家族、医療機関との連携を密にしている。
- ・要支援、要介護のなった場合は、在宅介護サービスを受けながら生活している。
- ・各種クラブ活動(華道・茶道・書道・パステルアート・園芸)等を提供し、余暇活動の充実を図っている。また、潤いある生活を送ってもらえるよう季節の散策や外食、観劇、日帰り旅行等の行事を企画している。また、特別給食やバイキング、手作りおやつを提供して食の楽しみを持ってもらっている。
- ・地域貢献事業の一環として地域の閉じこもりがちな高齢者を招き、盆踊り大会やパステルアート教室を実施している。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和1年10月8日（契約日）～ 令和2年3月24日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（平成26年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

<介護保険サービスへの移行期にも可能な限りのケアを実践している。>

体調不良等やADLの低下により、介護保険サービスが必要になった利用者には、それぞれの意向に応じて、利用できるよう手続き支援を行っている。また、介護施設への変更が必要になった場合は、変更できるまで、可能な限り身体介護などのケアにあたっている。

<地域の人々や在宅の高齢者との交流する機会が多い。>

事業計画に「人と人のふれあいの中でくらす。」と明示され、地域交流マニュアルに基づき、中学校、高校、保育園や自治会との定期的な交流のほか、盆踊り大会の行事を実施している。また、地域の介護福祉の拠点施設として広く認知されており、地域の高齢者のために、行事やサロン等に気軽に参加してもらえるよう体制を整えている。無料送迎バスが週3回運行されており、入居者の通院や買い物等について利便性を高めている。また、福祉フェスティバル等、地域行事への参加を通じて地域交流に努めている。

<職員の人材育成に力を入れている。>

目標管理制度を導入しており、年度当初の自己目標の設定、定期的な自己評価、上司のフィードバック面接の実施により職員の質の向上に努めている。また、事業計画の中に「職員の資

質向上と専門性の確立」が明記され、年間研修計画（教育訓練計画）が策定されており、新人職員研修や施設内研修、OJT、外部研修等、様々な研修体制を確立している。研修受講後、研修内容の復命研修を行う等職員への周知を図るとともに、今後の研修計画の見直しに反映させている。

＜入居者一人ひとりの生活スタイルに合わせた支援に努めている。＞

本人のエンパワメントを高める観点から、入居者・家族からアセスメントシートを用いて心身の状況や要望等について、事前面接で聞き取り、個別支援計画を作成し、本人の主体性を尊重しつつ、入居者一人ひとりの生活スタイルに応じた支援を行っている

◇改善を求められる点

＜入居者・家族に向けて、事業計画のさらなる周知に向けた取り組みに期待したい。＞

事業計画の利用者への周知について、入居者・家族がステークホルダーの重要な一員であることを考えれば、事業計画の要旨について、分かりやすい資料を作成し、説明する等、さらなる周知に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回は2回目の第三者評価の受審でした。1回目（26年度）にご指摘のあった点については改善に向けて取り組み、サービスの質の向上に繋がりました。今回、2回目の受審を通して再度施設経営全般やサービス提供について見直すよい機会となりました。

評価では、全体を概観する観点から評価して頂き、良い評価を頂きました。改善すべき点の事業計画の更なる周知については、来年度早々に取り組んでいきたいと思っております。

今後も継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なるサービス向上に繋がるよう努めていき、入居者の安全で安心した生活の場になるよう努めていきたいと思っております。

また、地域貢献に向けた取り組みも継続して行っていきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。